

# 広報 ひろさき



## 施政方針

これまでの4年間、市民の「暮らし」を支え、「いのち」を大切に、次の時代を託す「ひと」を育てるため、さまざまな地域課題にしっかりと向き合い、着実に解決に向けた取り組みを進めてまいりました。

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民活動や地域経済に深刻な影響を及ぼし、これまでに100を超える対策を関係者の声を聴きながら、市民の皆さんのご協力のもと実施してまいりました。

こうした中で、日々、医療現場の最前線において、治療やワクチン接種に当たられている医療関係者をはじめ、全ての事業に携わる皆さんが困難な状況に立ち向かう姿を見て、私たちは決して無力ではない、必ずや乗り越えることができると強く感じているところであります。

それと同時に、私たちにとって健康であることの大切さや重要性を改めて強く認識いたしました。

これからのまちづくりの基本となるのは、「健康」であります。10年、20年と長期にわたる取り組みが必要となるものと考えておりますが、子どもから高齢者まで全ての市民が健康で長生きできる地域づくり、そして、それにとどまらず健康医療産業の誘致により雇用の場が確保され、所得も向上する、そのような健康都市弘前を実現することが、このかけがえのないふるさと弘前を元気にすると確信しております。

健康に関する取り組みを一体的かつ重層的に展開することにより、皆さんの健康を希求する心に応え、健康都市弘前の実現を目指してまいります。

4月の市長選挙で再選後、初めて招集した令和4年第2回市議会臨時会の初日（5月17日）、櫻田市長は施政方針演説を行い、新たな任期に向けた決意を表明しました。施政方針の全文は、市ホームページをご覧ください。

先人たちが築き上げてきたこの弘前のまちなみ、歴史・文化、人々の温もり、これまでと変わらぬ緑豊かな自然。このような弘前の美しさなど守るべきものは守り、そして、新型コロナウイルス感染症をはじめとする山積する地域課題に、時宜を逃さず対応するために変えるものは変えながら、しっかりと育て、新しい時代を担う子どもたちに引き継いでまいります。

そのためには、これまでの4年間において信頼関係を築いてまいりました皆さんに寄り添い、その声をしっかりと聴き、向き合い、丁寧に説明をすることで理解を得ながら、この先にある新しい弘前を皆さんと共に築き上げ前へ進んでまいりたいと考えております。

市民に最も近い自治体の長として、また“市民の役に立つ所”の長として、課題に立ち向かい、基本に徹しながら、初心を忘れることなく、これからも市民目線での市政運営にまい進してまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※「令和4年度施政方針」を要約・抜粋しました。

■問い合わせ先 法務文書課（☎ 40-0205）



「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は障がい福祉課（☎ 40-7036）まで。



「広報ひろさき」をアプリで読めます！「マチイロ」で検索（iOS・Android対応）

